

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-517141(P2008-517141A)

【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-537926(P2007-537926)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月14日(2008.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

繊維を含む繊維ウェブを含む接着性物品であって、前記繊維ウェブが、少なくとも 2 m m の厚みを有し、そして反対側にある第一および第二の主面を有し；

前記第一の主面が第一の接着剤層を備え、そして前記第二の主面が第二の接着剤層を備え、前記第一および第二の層が、接着剤組成物を含み、

そして、前記繊維ウェブ中の前記繊維の少なくとも一部が、前記第一の接着剤層および前記第二の接着層と接合的係合関係にあって、そして前記第一の主面から前記第二の主面へと延在し、所望により前記繊維ウェブが波形の繊維ウェブである、接着性物品。

【請求項 2】

繊維を含む繊維ウェブを含む接着性物品であって、前記繊維ウェブが、少なくとも 2 m m の厚みを有し、そして反対側にある第一および第二の主面を有し；

前記第一の主面が第一の接着剤層を備え、そして前記第二の主面が第二の接着剤層を備え、前記第一および第二の層が、接着剤組成物を含み、そして、

前記繊維ウェブ中の前記繊維の少なくとも一部が、前記第一の接着剤層および前記第二の接着層と接合的係合関係にあって、そして前記繊維が前記第一の主面から前記第二の主面へと延在するように接合されていることが可能である、接着性物品。

【請求項 3】

前記接着層のそれぞれが、前記繊維ウェブの全体の厚みの 30 % 以下で前記繊維ウェブの中へ延在する、請求項 1 または 2 のいずれかに記載の接着性物品。

【請求項 4】

前記接着性物品が、前記繊維ウェブの厚み方向に少なくとも 10 %、可逆的に圧縮されることが可能である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の接着性物品。

【請求項 5】

前記第一の主面から前記第二の主面へと延在している前記繊維ウェブ中の繊維の割合が、前記繊維ウェブ中の繊維の総数を基準にして 20 % 以上である、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の接着性物品。

【請求項 6】

前記繊維ウェブが、熱、化学線照射または電子ビーム照射で活性化されることにより、前記繊維ウェブの圧縮性の減少または消失をもたらす組成物を含む、請求項 1 ~ 5 のい

れかに記載の接着性物品。

【請求項 7】

輸送車両における構成要素を接合または硬化させるための、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の接着性物品の使用。

【請求項 8】

a) 第一の接着性物品を、第一の接着層を用いて第一の基材に接合させる工程、

前記第一の接着性物品は、

接合可能な繊維を含み、そして反対側にある第一及び第二の主面を有する第一の繊維ウェブ、および

前記第一の繊維ウェブの前記第一の主面と接合的係合関係にある接着剤組成物を含む前記第一の接着層；

を含み、

前記第一の接着性物品の前記接合可能な繊維が、前記第一の繊維ウェブの前記第一の主面から前記第一の繊維ウェブの前記第二の主面へと延在し、そして前記第一の繊維ウェブの厚み方向に配列されている；

b) 第二の接着性物品を、第二の接着層を用いて第二の基材に接合させる工程、

前記第二の接着性物品は、

接合可能な繊維を含み、そして反対側にある第一及び第二の主面を有する第二の繊維ウェブ、および

前記第二の繊維ウェブの前記第一の主面と接合的係合関係にある接着剤組成物を含む前記第二の接着剤層、

を含み、

前記第二の接着性物品の前記接合可能な繊維は、前記第二の繊維ウェブの前記第一の主面から前記第二の繊維ウェブの前記第二の主面へと延在し、そして前記第二の繊維ウェブの厚み方向で配列されている；

c) 前記第一の基材を前記第二の基材に隣り合わせて、それにより、前記第一および第二の接着性物品が第一の基材と第二の基材との間に挟み込まれるようにし、前記第一の接着性物品の接合可能な繊維の少なくとも一部が前記第二の接着性物品の接合可能な繊維の少なくとも一部に係合されるようにする工程；および、

d) 前記第一の接着剤層から前記第二の接着剤層へと延在する接合された繊維を形成する、前記第一の接着性物品と第二の接着性物品の係合された接合可能な繊維の少なくとも一部の間で繊維 - 繊維接合を形成する工程、を含む接着方法。